

産振構 NEWS

安心・安全な有機素材による
味噌づくりを究め日本が誇る発酵食・
味噌パワーを世界に発信。



海外で
ガンバル企業
p1

代表取締役社長 **金光康一氏**
金光味噌株式会社

逆境を好機と捉え、オンリーワンの金型技術を活かした新発想のヘルスケア商品開発で
新たな事業分野を切り拓く。



代表取締役社長 **松本文治氏**
松本金型株式会社

広島で
ガンバル企業
p3

特集

ピンチをチャンスに成長する 地域企業を支援

～自動車産業大変革期にカーテクノロジー革新センターが行っていること～



スマホで簡単!!
動画を見よう!

使い方はP.8へ

レポート

- 販路開拓の支援!!
～広島生まれの「優れモノ」を一堂に取り揃え全国へ発信～
- 『仮想カタログワークショップ』を開催!
- 『中国ブロック合同広域商談会』を開催!
【おかやまテクノロジー展 (OTEX2018) との同時開催】
- 1月25日『上海食品商談会』を実施!
中国巨大SNS「WeChat(微信)」を活用

インフォメーション

- 第6期 広島会場 イノベーションインストラクター育成塾
(現場改善人材育成講座)のご案内
- 「広島県受注企業ガイドブック」掲載のご案内
- 平成30年度
ひろしまデジタルイノベーションセンター利用者の募集
- ホームページが新しくなります!



本社兼店舗は府中の歴史を伝える築190年余の建物

海外で

GLOBAL

ガンバル企業

安心・安全な有機素材による味噌づくりを究め 日本が誇る発酵食・味噌パワーを世界に発信。



金光味噌株式会社

かねみつ こういち

代表取締役社長 **金光 康一氏**

- 本社・工場 広島県府中市府中町628
- 創業 1872(明治5)年
- 事業内容 味噌及び加工食品の製造・販売
- 従業員数 15名

長きにわたって日本人の食文化と健康を守ってきた「味噌」が、近年世界的ブームとなっている。いち早く海外に味噌を紹介し、その先導的役割を果たしてきたのが府中市の金光味噌株式会社だ。有機素材による味噌づくりや味噌を手軽に摂ることができる新商品開発に力を入れ、400年余の伝統をもつ府中味噌の新たな可能性を探る金光康一社長に話を聞く。

有機味噌のパイオニアとして 海外に進出

かつて備後国の国府が置かれた府中市は、古くから味噌や醤油などの醸造が盛んだった地。とりわけ米麹の割合が高く甘味の強い白味噌は、石州街道の宿場町として発展した江戸時代より「府中に味噌あり」と全国に名を馳せた。金光味噌株式会社は酒、醤油、味噌の醸造業を手広く営んでいた本家から、1872年に分家して創業。以来、府中味噌の伝統を守り継いできた味噌蔵だ。

同社の味噌が最初に海を渡ったのは、食生活の洋風化で国内の味噌消費量が激減していた1970年代半ば。「当時肥満や成人病が社会問題となっていた欧米では、逆に細身で壮健な日本人が食べている発酵食品が注目され、幼い頃から家には外国人がよく見学に来ては、滞在していました。その中で自国で店をやりたいという人が、味噌を持ち帰って販売するようになったのが輸出のきっかけと聞いています」と5代目の金光康一社長。欧米ではヒッピー

ムーブメントを経て、自然回帰や健康志向の機運が高まっていた時代でもあり、1982年には完全無農薬有機栽培原料の味噌づくりに着手した。1989年日本の味噌メーカーで初めてOCIA国際的な有機認定を取得、2000年には味噌製造部門の国内有機JAS認証第1号にもなっている。「有機味噌の海外輸出に力を入れたのは、うちのような小さな味噌蔵は大手メーカーとの価格競争に勝てない、伝統の製法を土台においしく安心・安全で健康に寄与する味噌をつくり、そこに価値を見出してもらえる海外で勝負しようという先代の判断があったからです」。

苦境を乗り越え 第2期海外展開を始動

欧米のオーガニックスーパーを主な販路として、順調に輸出量を伸ばしてきた同社だが、現地小売業界のM&Aが活発化してくると、再び利益率の高い大手味噌メーカーの商品が優先されるようになる。海外向けフリーズドライ味噌汁の開発など試行錯誤するもの



大豆の洗浄工程を担う坂口さん



専務の金光奈津代さんを中心に開発される味噌を使った加工品の品々



創業以来146年間使用している熟成用の杉樽



有機味噌には根粒菌が豊富な土地で栽培された栄養豊富な大豆を使用

の、リーマン・ショックの影響もあって受注は低迷した。「その時期に産振構さんのお声掛けで国際ビジネス支援センターやアグリ協議会(産振構事務局)の事業に参加したことが、現在の第2期海外展開につながりました」と金光社長は振り返る。2009年の「シンガポール商談会」、翌2010年の「パリ商談会」や「香港フードエキスポ」、2011年には「ソウル商談会」、広島日本香港協会(産振構事務局)の「香港バイヤー招へい食品商談会」など精力的に参加する中で実感したのは、日本の味噌が世界的な広がりをみせていることだ。「特に杉樽で長期間熟成させる伝統製法の有機味噌に強い関心を示すのは、オーガニックを自然と共生共存する生き方と捉える若い世代の経営者。モノを売るというよりライフスタイルを提案する店が新たな販売チャネルとして定着しつつあります」。さらに2013年に和食がユネスコ無形文化遺産に登録されたことが追い風となり、輸出先は欧米だけでなくアジア、オセアニア、中東地域にも広がった。現在、同社が生産している味噌の4割近くが海外向けだという。

海外向けと一言にいっても味の好みは国ごとに違い、使い方もさまざま。金光社長と妻で専務でもある奈津代さんは各国を飛び回り、現地の嗜好に合わせた商品開発や味の調整をし、取り入れやすいメニューを提案する。さらにユダヤの教義に準じたコーシャ認証の取得、確実な食品安全管理を実践するためのFSSC22000認証や米国食品安全強化法FSMAへの対応など輸出環境の整備にも努める。海外の食卓に味噌を根づかせ顧客に信頼のブランドとして

認知されるには、こうした地道な努力や柔軟な対応力が必要だ。

手軽においしく味わえる 味噌加工品を開発

一方で、毎日の食卓に手軽に楽しく味噌を取り入れてもらいたいと、ここ10年新しい商品開発にも力を入れてきた。味噌を使ったゼラートや焼きドーナツ、ドレッシング、大豆で肉の食感を出した「畑の肉味噌シリーズ」、有機醤油に有機米麴を混ぜて熟成させた有機醤油麴など、奈津代さんを中心に女性社員が開発を手がける味噌加工品は、発想がユニークで味はもちろんパッケージやネーミングも秀逸。若い世代や海外の人にも人気だ。

もちろん一番大事にしているのは基本の味噌づくり。金光社長自ら現場に立ち、原料の吟味から製造プロセスの一つひとつに目を配る。「味噌は生きものと言われるほど繊細です。その日の気温や湿度、時間の管理、蔵や杉樽に住みついた菌まであらゆる環境が発酵に影響を与えるので奥が深く、面白い。受け継いできた伝統製法を大事にしながらかつては職人の勘だけに頼っていた作業を可能な限り数値化し、プログラミングして味噌の発酵をパソコンで監視するといった新しい試みもしています。心強いのは共に味噌づくりに情熱を傾けてくれる社員たちの存在。その力を支えに日本が誇る発酵食品をこれからの時代も守り継ぎ、また世界中の人々へ伝えていきたいと思っています」。



味噌の樽詰めの様子

世界が認める味噌づくりに興味を持つ若い人材が参集

伝統産業の多くが抱える課題は技術を継承する担い手の育成だが、金光味噌の社員の年齢構成は30~40代が中心と若い。中には伝統の発酵食品や同社の味噌づくりに興味をもち、滋賀県や石川県など遠方から入社してきた20代もいるという。「東日本大震災以降、若い世代も意識が少しずつ変わってきたという印象です。勉強熱心でベテランの工場長や先輩からぐんぐん知識や経験を吸収しますし、新しい試みにも意欲的。私が海外出張で留守をする時も安心して任せられる。うちの宝は社員です」と金光社長は目を細める。





「みみごち」の拡大模型を持つ松本社長（左）と小田原部長（右）



商品の機能を模型で説明するディスプレイ

広島で

HIROSHIMA

ガンバル企業

逆境を好機と捉え、オンリーワンの金型技術を活かした 新発想のヘルスケア商品開発で新たな事業分野を切り拓く。



松本金型株式会社

まつもと ぶんじ

代表取締役社長 松本文治氏

- 本 社 ・ 工 場 広島県東広島市志和町冠283
- 創 業 1979（昭和54）年9月
- 事 業 内 容 プラスチック金型の設計・製作、ヘルスケア商品の開発・販売
- 従 業 員 数 25名

創業以来、主に自動車部品用のプラスチック金型を製作してきた松本金型株式会社が、自社で開発した新発想のヘルスケア商品を相次いでヒットさせ、新たな収益の柱を打ち立てている。主力事業も好調で今期過去最高収益を見込む同社の代表取締役社長松本文治氏に、新事業開拓の経緯や金型技術の可能性について聞く。

メーカーになることが 創業時からの夢

松本金型株式会社は1979年、松本社長が28歳で興した金型工場だ。技術要求の高い自動車部品用のプラスチック射出成形金型を手がけ、複雑な金型の押し出し・抜き取り方法では特許技術をもつ。同社が意外な分野でヒット商品を生み出すきっかけとなったのは、2008年日本の自動車業界をも直撃したリーマン・ショックだった。

「金型の受注が激減して経営的には厳しいが、時間や労力の余裕はある。かねてから挑戦したかった自社商品の開発をやるなら今だと。着想のヒントは“痛くない注射針”の開発で有名な岡野工業さんのポスターがたまたま目に留まり、これだ！“痛くない耳かき”を作ろうとすぐさま社員に宣言しました」。BtoBが難しければ、BtoCへ。熟練の金型職人でプレス加工にも精通する松本社長は、自前の技術で自前の商品をもつメーカーになることが創業時からの夢だったという。

売れる仕組みを学び ヒット商品に育てる

社員と共にアイデアを出し合い、試作を何度も繰り返して出来上がったオリジナル商品第1号の耳かきはヘッド部分が樹脂製で、肉眼ではわかりにくい160本のかぎ状極細ブラシと変形し易いスリット入りの2種類でワンセット。弾力性があるので耳に心地よく、使い分けでどんな耳垢もきれいに掻き出せる構造になっている。さらに収納するとペン型になる工夫も加えた自信作だったが、いざ売るとなると新たな壁に直面した。「販売店への売り込みは初めてで、どこを訪ねればいいのかもわからない。アイデア商品を扱う全国展開の小売店では知名度がないと一蹴され、途方に暮れました」と販路開拓を任された小田原進部長は苦笑する。相談に赴いた金融機関で紹介されたのが、産振構の「販売戦略塾」。そこでマーケティングの基礎を学び、さらに専門家による商品のブラッシュアップ支援を受けたことで、次第に売れる商品の仕組みが見えてきた。「ネーミングやパッケージの見直し、原価



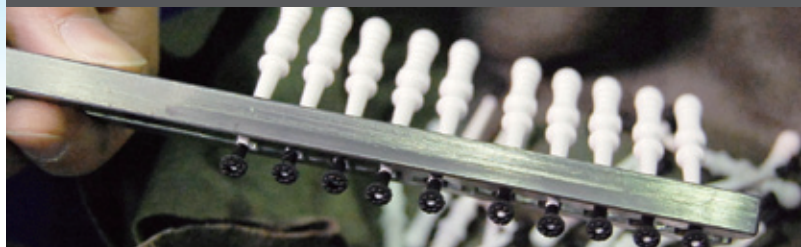
松本社長自ら最終調整する「魔法のつめけずり」



社員の皆さん



カラーバリエーションも豊富に展開中



「みみごち」製造の様子

計算から箱詰めまで手取り足取り教えていただいたおかげです。交流サロンでの発表がメディアに取り上げられると大きな反響があり、すぐに地元ドラッグストアへの大量納入が決定。店頭に並んだときは涙が出るほど嬉しかったですね。知名度を上げるということとはこういうことかと(笑)。

特長をわかりやすく訴求する“みみごち”と商品名を変更した耳かきは、まず広島で爆発的に売れ、やがてそれが販売実績となり全国に広がった。

商品化から7年。この間ネット動画で人気のチャンネルで取り上げられるなどさらに知名度を上げ、シリーズ累計販売総数130万本超、新商品も加わった耳かき全体では200万本近く売れヒット商品となっている。

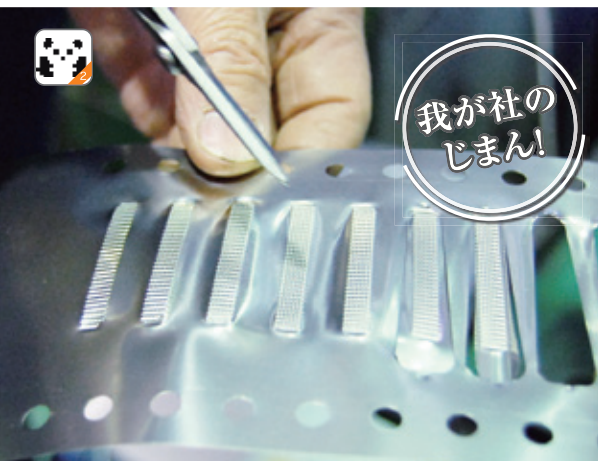
匠の金型技術で世界に挑戦

商品開発事業ではその他にも、ひろしま医療関連産業支援事業費補助金を活用して広島大学と共同研究した舌ブラシ「したつつみ」や、手早く安全に爪を整えることができる「魔法のつめけずり」、歯の裏側まできれいに磨ける回転ヘッド歯ブラシ「魔法ミガキくるりん」と、これまでにない画期的なヘルスケア商品を次々と開発。構造や使い方をわかりやすく説明する動画や店舗用にミニ模型付きハンガーディスプレイ

レイまで自前で用意するなど、「とにかく一つでも多く当社の商品を広めたい」と熱意がビシビシ伝わってくる販促活動と相まって話題を集め、売り上げも好調だ。それでも商品開発事業の収益はまだ全体の1割程度。今後は実用化できそうなユニークな発想を社内外に募集して新商品開発を加速させるほか、国内だけでなく海外展開にも力を入れていく予定だという。

「チャンスがあれば何でもチャレンジするのが当社の姿勢。展示会などを通じて、商社や日本の小売店の海外店舗で取り扱いたいとの引き合いがあり、刃物の街で有名なドイツ ゴーリングエンの企業と爪削りの共同開発する話もあります。また国内では念願だったコンビニエンスストアへの展開も書籍と合体させた新しい形で年内には実現しそうです」。

近年は自動車のICT化や、電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド車(PHV)等の開発が加速し、主力事業もフル稼働する中、松本社長は工場全体に目を配りながら常に新しいアイデアを模索する。「商品の構造はほぼオープンにしていますが、おそらく同じ金型業界の人でも見ただけでは作り方がわからないでしょう。当社の金型技術とプレス加工で世界一の商品を作り革命を起こしたい、いや革命は起きると本気で思っているんです」。「モノづくりは我が人生」という職人気質の松本社長の挑戦に終わりはない。



「魔法のつめけずり」プレス成形の様子

世界一となりうる筆頭格は、この「魔法のつめけずり」

「魔法のつめけずり」は新発想の“切る”のではなく“削る”爪切り。8工程にも及ぶ独自の製法と匠の技で実現した独自の構造は、世界的なボディケアメーカーを唸らせたという。カットから仕上げまでこれ1本で早く綺麗にできるのでネイルケアはもちろん、深爪しないので高齢の方や小さなお子さんにも安心。削りかすが下に落ちず本体の中に入っていき設計も秀逸だ。



ピンチをチャンスに成長する地域企業を支援

～自動車産業大変革期にカーテクノロジー革新センターが行っていること～

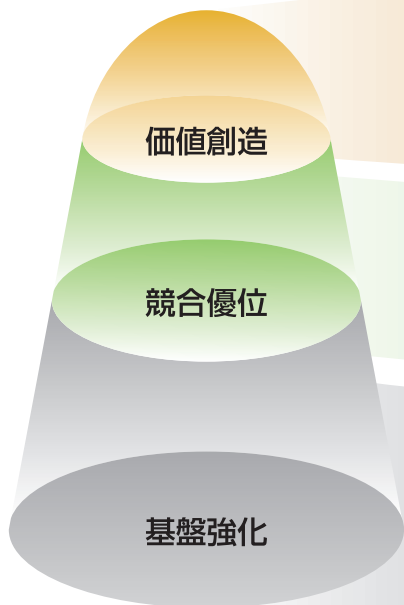


センターの目的と活動概要

2020年での「ありたい姿」:

県内外に価値ある提案ができる世界レベルの地域企業群 を実現すること。

3つの活動レイヤー



『新しい価値創造』

地域発の新たな価値創造の実現を目指します。
 ・探索的な実験研究による新技術へのトライアル
 ・異業種技術との融合
 ・産学連携の推進

『競合優位』

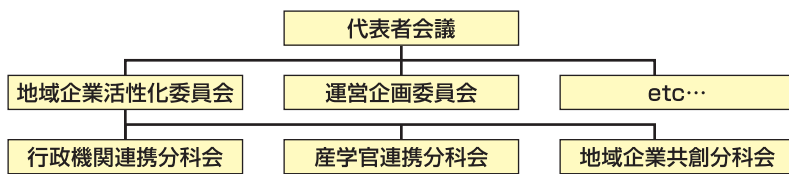
世界レベルの提案型企業の創出を目指します。
 ・事業化を目指した開発補助金の活用
 ・競合優位状態の実現

『基盤強化』

地域の企業の底上げを目指します。
 ・人材育成、現場改善
 ・要素技術のレベルアップ
 ・積極的な情報発信

ひろしま自動車産学官連携推進会議（ひろ自連）の活動

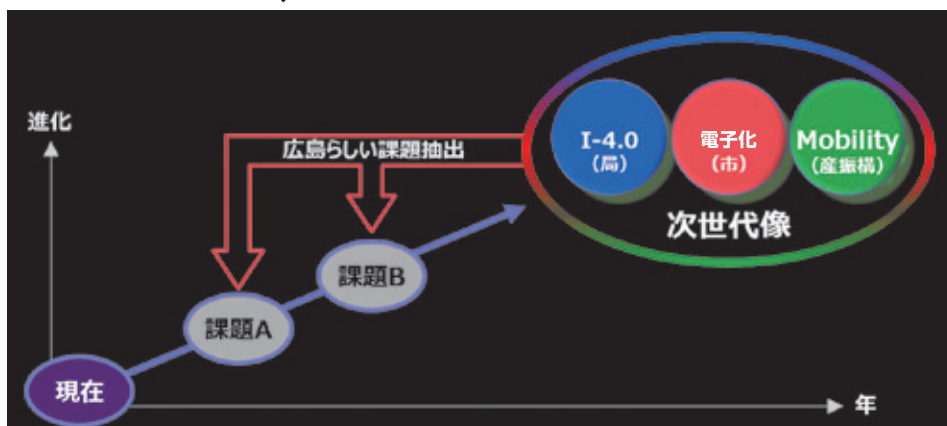
- 中国経済産業局、広島県、広島市、広島大学、マツダ、ひろしま産業振興機構が連携し、地域の自動車産業を盛り上げようとしている会議体です。詳しくは公式ウェブサイトをご覧ください。 <https://www.hirojiren.org/>
- この活動をご支援いただける方は、共創連絡会（相互に協力する為の情報交換ネットワーク）への入会をお願いします。
- カーテクノロジー革新センターは地域企業活性化委員会の主管団体として、地域企業のニーズ把握などを行っており、その一環として、中国経済産業局、広島市と連携し、講演テーマを分担することにより、次世代像を見える化しました。これからも、広島らしい課題抽出のきっかけ作りを進めてまいります。



講演テーマ

- 10/13 広島市:ここまで行く電子化 /CASE
- 10/16 中国経済産業局:過去の産業革命からインダストリー4.0まで
- 2/28 産振構:モビリティ社会の将来

【お問い合わせ】
 カーテクノロジー革新センター
 TEL082-240-7713
 FAX082-242-7709
<http://www.hiwave.or.jp/atic>



活動事例の紹介

技術の芽を探索～シーズの創造

●新技術トライアル・ラボにおいて10件の実証実験を行いました。

●NVH性能ベンチマークの実施

これまでのベンチマーク活動での部品の構造・材質の比較による、コスト／製造技術の課題抽出にとどまらず、新たな価値創造に向けて、その部品の車両性能(NVH)への影響、寄与を詳細調査し、性能開発の課題抽出まで踏み込みました。

●軽量フレーム構造の研究

自動車の軽量化技術として、アルミ、高張力鋼板、CFRPなどの素材や、レーザー接合などが知られていますが、早期実用化に向けて、部品に求められる多くの性能を損なわない、真の軽量化技術の抽出を進めています。



技術開発の支援～卓越した製品の創出

●次世代ものづくり補助金(広島県)の事業管理機関として県内2企業の研究開発を支援しました。

●ベンチマーキング活動

平成29年度は最新車両であるトヨタCH-Rとホンダシビックを分解調査しました。

地域企業の部品開発における課題抽出になっているだけでなく、NHKニュースでも紹介され、「日経オートモーティブ」では特集が組まれるなど、全国から注目を集める活動になっています。



人材育成支援～存在感のある専門家の創生

●人材育成セミナー

「VEセミナー」、「TRIZセミナー」、「自動車工学基礎講座」、「技術者のためのコミュニケーション・スキルアップ研修」、「伝えるポイントを学ぶプレゼンテーション研修」、「相手を動かすコーチング研修」を行っています。

誇らしい話題として、5月には自動車工学基礎講座の取組みが「広島県地域産業のエンジニア育成にあたり革新的かつ包括的な取り組みの継続」として公益社団法人自動車技術会から「技術教育賞」を受賞しました。

さらに、10月にはVEセミナー実施に取組みが「2009年11月からVE基礎セミナーを開講。県の人材育成事業の一環としてこれまでに計36回(153社856名が受講)開催した。2016年度からは応用編となる開発設計のVEがスタートするなど、当地におけるVEの普及・活用促進に大きく貢献している。」として公益社団法人日本VE協会から「VE特別功績賞」を受賞しました。



REPORT

ひろしま産業振興機構が実施・協力した事業の概要をご報告します。



ヒロシマ・デパートメント
Hiroshimamade

REPORT 1

販路開拓の支援!!

～広島生まれの「優れモノ」を一堂に取り揃え全国へ発信～

ひろしま産業振興機構では、販売戦略塾やチーム型支援をはじめ各種施策と連動した取り組みとして、強力な競合相手となる大手商品・ブランド品に埋没しないために、ある程度の塊(集団化)での販路開拓支援を行うとともに、県内各事業者への個別支援だけでなく、商品全体のブランド価値向上等を目的として、販路開拓の共通屋号「ヒロシマ・デパートメント」を冠し、首都圏での専門見本市への出展支援や情報発信を行いました。

- 展示会:第85回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2018
- 会 期:平成30年2月7日～9日
- 会 場:東京ビッグサイト(東京都江東区有明)
- 出 展:13社 132アイテム

今回のテーマは「a view LifeStyle SETOUCHI」。“東洋の地中海”といわれる穏やかな海と自然、豊かな多島で育まれた食品からファッション雑貨に至るまでの良質な“Hiroshima made”の商品を発信しました。

- 展示会:第52回スーパーマーケット・トレードショー
- 会 期:平成30年2月14日～16日
- 会 場:幕張メッセ(千葉県千葉市美浜区)
- 出 展:22社(尾道商工会議所との共同ブース)

本プロジェクトの一環で、販路開拓のきっかけづくりのため、今回は尾道商工会議所との共同により首都圏での食品専門展示会への出展をサポートしました。



東京インターナショナル・ギフトショー



スーパーマーケット・トレードショー

【お問い合わせ】

中小企業・ベンチャー総合支援センター 起業化・事業化支援担当

TEL 082-240-7701 FAX 082-249-3232

E-mail:sien-center@hiwave.or.jp

REPORT 2

『仮想カタログワークショップ』を開催!



仮想カタログワークショップの様子

ひろしま医療関連産業研究会(ひろしま医工連携推進センターが事務局。平成30年1月末現在会員数422(うち企業375、その他47))では、新たなプロジェクトの創出やネットワークづくり、個別プロジェクトの事業化の促進を図るため、医工連携サロンやセミナーを実施しておりますが、今回は、第3回医工連携サロンで開催した『仮想カタログワークショップ』について報告します。

このワークショップは、製品や商品の導入から事業化までのプロセスを検証する仮想カタログの手法を学び、事業化可否の判断、工程管理、上市後の販売チャネル等の検討検証する事で事業化ヒット率の向上を目指して開催したものです。

日本能率協会より講師をお招きし、仮想カタログの作成手順の解説後に、参加企業の皆様が事業性、商品性、実現可能性の各項目に各社、開発品や新規検討品に関して情報を記載し仮想カタログを作成し、意見交換を行いました。

企業の皆様からは、自社製品の弱みであったり、企画・コンセプトの考え方、今後の課題が明確となったなど、参加してとても良かったとご好評いただきました。

今後も、同様のワークショップの開催等も含めて、県内企業の皆様の医療・福祉機器開発を支援して参ります。

【お問い合わせ】

ひろしま医工連携推進センター

TEL 082-240-7709 FAX 082-242-8628

『中国ブロック合同広域商談会』を開催! 【おかやまテクノロジー展(OTEX2018)との同時開催】

経営基盤強化支援センターでは、新規取引先獲得・情報交換の場として県内の受注企業と全国の発注企業が一堂に会し、個別面談形式による大規模な商談会を開催しております。

今回は、岡山県のものづくり関連企業等が集結する、おかやまテクノロジー展(OTEX2018)と初めての同時開催となりました。1月17日(水)・18日(木)の2日間に渡り、展示会への来場者数は延べ9,148名(昨年度は7,301名)と盛況のうちに閉会しました。商談会の開催結果としては、アンケートでの受注企業からの回答では、発注企業からの見積依頼が総商談数(143商談)の内67.8%(前年度は56.1%)となる等、今後の販路開拓に期待の持てる結果となりました。

来年度は、広島県で『中国ブロック合同広域商談会』を開催する予定です。是非ご参加ください!!



商談会の様子



展示会の様子



商談会	受注企業数 (広島県企業)	発注企業数	総商談数 (広島県企業)	見積依頼 (広島県企業)
平成29年度中国ブロック合同広域商談会 【平成30年1月17日(水)・18日(木)】	37社	67社	143商談	67.8%
平成28年度中国ブロック合同広域商談会 【平成28年9月8日(木)】	35社	46社	98商談	56.1%

【お問い合わせ】

経営基盤強化センター 販路開拓支援担当

TEL 082-240-7704 FAX 082-242-8627

1月25日『上海食品商談会』を開催! 中国巨大SNS「WeChat(微信)」を活用

食品・飲料等の県内商品の輸出促進など経済交流拡大を目指し、中国上海市において「上海食品商談会」を実施しました。

- 日 時:平成30年1月25日(木) 9:00~17:00
- 場 所:花園飯店2階「ジャズミンルーム」
- 参加者:広島県食品企業 14社 来場バイヤー 62社(上海、北京、大連、遼寧、海南等)

当日は上海では珍しく雪が降るなか、大勢のバイヤーが中国各地域から来場し、170件の商談を行い大盛況のうちに終わることができました。参加者からは、「非常に多くの商談ができた」、「当日商談をまとめることができた」、「期待通りの成果だった」などのお声をいただきました。

今後、広島上海事務所と連携しながら、参加企業と現地バイヤー双方のニーズを把握することにより、効果的な販路拡大に繋げ、広島県のさらなる経済成長の実現を目指します。



商談会の様子

★産振構「WeChat(微信)」公式アカウントの活用について

- WeChatで事前に出席商品情報を配信
 - WeChatでバイヤーへの商談会参加を呼びかけ
 - 事前事後のバイヤーからの商品等への質問等にWeChatで回答
- 詳細は産振構「WeChat(微信)」公式アカウント「広島俯瞰/日本広島優品角」をご覧ください。
ID『guangdao_youpin』 商談会の様子もご覧いただけます。



【お問い合わせ】

国際ビジネス支援センター

TEL 082-248-1400 FAX 082-242-8628



マークのある写真をケータイで読み取って
動画を見よう!



インストール後、
アプリを起動し画像を
スキャン。認識されると
コンテンツが流れます。

107号は2018年6月まで公開!

AR利用方法

動画を見るにはCOCOAR2アプリをダウンロード(無料)

※「COCOAR2」のご使用は、Wi-Fi、LTE環境を推奨しています。回線混雑状態等により画像の認識や動画再生が遅くなる場合があります。スマートフォンのみ対応しています。

iPhoneの場合

右記の2次元コードを
読み取りアプリをダウ
ンロードしてください。



または…

アプリ検索

COCOAR2

検索

Androidの場合

右記の2次元コードを
読み取りアプリをダウ
ンロードしてください。



または…

アプリ検索

COCOAR2

検索

INFORMATION

第6期 広島会場 イノベーションインストラクター育成塾 (現場改善人材育成講座)のご案内

ひろしまものづくり人材育成センターでは、【品質、コスト、納期】の改善で現場の力を高め企業収益を上げるための、現場改善人材を育成するイノベーションインストラクター育成塾を開催します。

開講は平成30年5月16日(水)の予定です。

イノベーションインストラクター育成塾の主な特徴

- ①体系的・実践的なカリキュラム(概論、理論、手法、演習)
- ②実際の現場で活動し、理解を深める現場実習
- ③様々な業種の方との交流



座学演習の様子

第6期イノベーションインストラクター育成塾募集概要

期 間:平成30年5月16日(水)～8月1日(水)間の18日

改善報告会:平成30年10月19日(金)

・場 所:広島県情報プラザ 現場実習企業

・募集対象:ものづくりの知識・経験を有する現場リーダー、経営幹部の方

・募集定員:12名

・募集開始:平成30年3月15日(木)

・募集締切:平成30年4月17日(火)必着



現場実習の様子

【お問い合わせ】 **ひろしまものづくり人材育成センター**

TEL 082-240-7716 E-mail:h-jinzai@hiwave.or.jp

「広島県受注企業ガイドブック」掲載のご案内

当財団では、県内中小企業の受注量安定確保を図るため、取引先の多角化、新分野進出等に意欲的な県内企業の加工技術・所有設備等を掲載した「広島県受注企業ガイドブック」を作成し、好評を得ております。

このたび、2019年度版を作成することといたしましたので、是非この機会に貴社の経営戦略の一助として掲載されますようご案内いたします。

1.対象企業

広島県内に事業所を有する受注企業

(原則として財団登録企業で、機械金属、電気、プラスチック等製造業の企業を対象とします。)

2.ガイドブック配付先

県内外発注企業等

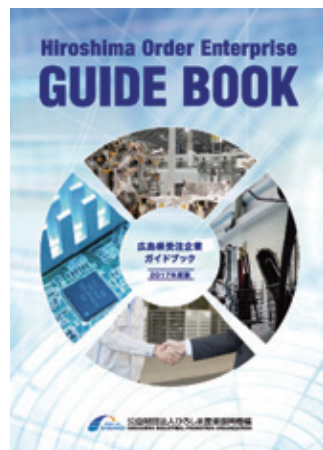
(但し、掲載企業へは各1冊配付します。)

3.負担金

10,000円/1社1ページ

2017広島県受注企業ガイドブックはHPより閲覧できます。

<https://www.hiwave.or.jp/organization/base/guidebook/>



【お問い合わせ】 **経営基盤強化支援センター 販路開拓支援担当**

TEL:082-240-7704 FAX:082-242-8627

平成30年度

ひろしまデジタルイノベーションセンター利用者の募集



ひろしまデジタルイノベーションセンターでは、クラウド型スーパーコンピュータ(HPC)とCAEソフトウェアの利用環境を整備して、それらを活用した新たなビジネス価値の創造や、研究開発を担うことができる人材育成を通じて、地域のものづくりの飛躍的な高度化や成長を図ることを目指しています。

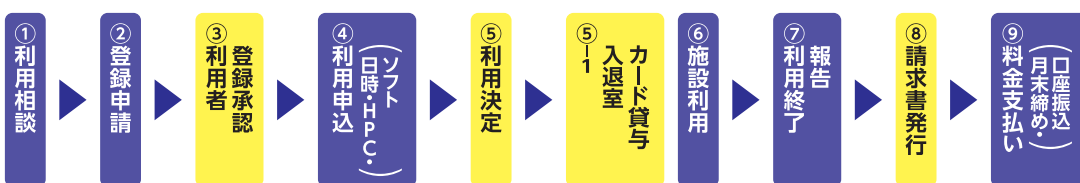
センターでは、利用申込フローに沿ったHPC/CAEソフトウェアの利用申込を随時受け付けております。また、平成29年度好評いただいた各種研修に加え、新たな研修メニューも充実していきます。

皆様のデジタルイノベーションを支援してまいりますので、お気軽にお問い合わせください。

利用申込フロー

■ : 利用者

■ : HDIセンター



【お問い合わせ】 **ひろしまデジタルイノベーションセンター**

TEL 082-426-3250 E-mail:hdic@hiwave.or.jp HP:https://www.hiwave.or.jp/hdic/

Facebook:https://www.facebook.com/HiroshimaDigitalInnovationCenter/



ホームページが新しくなります!



HSUSC
ひろしま創業
サポートセンター

この度、ひろしま創業サポートセンターは専用ホームページを開設します。

わたしたちの取組や利用者の声などを紹介するとともに、

セミナーやイベントへの申込みを専用フォームで受け付けます。

より検索しやすく簡単で便利に! 新しいホームページ、ぜひ、一度、ご覧ください!

https://www.hiwave.or.jp/hsusc/



女性向けワークショップ講師のみなさま

《イベント情報》

平成30年3月17日(土)~24(土)の8日間、広島・尾道・福山を舞台に『創業フェスティバル』を開催しています。

期間中は各会場でトークイベントやワークショップ、創業相談会など、楽しいイベントが盛りだくさんです!

3/19(月)3/22(木)3/23(金)は女性向け創業体験ワークショップ。ファッション、フラワー、美容、料理等の講師を多数お招きしています。

ぜひ、お気軽にお近くの会場へお越しください。

詳しい内容は[広島県ホームページ]又は[ひろしまスターズ]のホームページで検索してください。



ひろしま創業サポートセンターは、創業や起業をお考えの皆さまにご利用いただける無料の相談窓口です。

まずは電話又はメールで、相談希望日時をご連絡ください。

【お問い合わせ】 **ひろしま創業サポートセンター**

TEL:082-240-7702 E-mail:found-support@hiwave.or.jp

このコーナーは、会員相互のコミュニケーション、ビジネスにご活用いただくスペースです。新商品、新企画、新規サービスなどの告知やPRにぜひご活用ください。

レーザーの力でスピード疼痛緩和

半導体レーザー治療器 Sheep

低出力のレーザー光が血管・神経・星状神経節に作用し、リウマチ・筋肉痛・急性肉離れ・ヘバーデン結節・関節の慢性非感染性炎症による“疼痛の緩和”に効果的です。



株式会社ユニタック

〒722-0212 広島県尾道市美ノ郷町本郷字新本郷1-60
TEL 0848-40-0390 FAX 0848-40-0391
http://www.unitac.net
E-mail: ohura@unitac.net
[担当者名] 営業部 大浦 育美

廃棄ガラスびんのリサイクルから生まれた、環境にやさしいリサイクル資材を世界へ

ストーンウォッシュ専用人工珪石

廃棄された多くのガラスびんをリサイクル原料として生まれたのが、デニムの洗浄用資材 商品名【デニムソル】。リサイクル技術から生まれた、環境にやさしい資材で、天然石に比べ、比重・摩擦・硬度等、安定した品質、供給が可能になりました。採石による環境負荷を軽減し、街の廃棄物を新たな資源として再生する同商品は、世界中で愛用されているデニム素材の洗い加工にご使用頂けます。現在は国内生産ですが、海外拠点でのリサイクル製造も予定しており、品質安定はもとより、地球環境の保全にも貢献する、新しい製品です。



有限会社ランドベル

〒729-0141 広島県尾道市高須町4797番地1
TEL 0865-66-1101 FAX 0865-66-1151
http://www.landbell.jp/gaiyo.html
E-mail: oodoi@landbell.jp
[担当者名] 岡山工場 大土井

折鶴再生紙に広島を象徴するモチーフを描いたポチ袋

HIROSHIMA ポチ袋

コンセプト:世界中から願いを込めて贈られるおりづるを用いた再生紙に、広島を象徴するモチーフを総柄で描きポチ袋に仕上げました。

「鯉」:立身出世、家内安全を司り、とても縁起の良いモチーフです。

「お好み焼き」:口に運ぶ道具「ヘラ」を描きました。

「折紙」:世界中を巡る「PEACE」を表現しました。

サイズは2種類となっております。(「大」巾95×高さ210、「小」巾60×高さ126)



株式会社松田製袋

〒730-0844 広島県広島市中区舟入幸町21-2
TEL 082-232-4388 FAX 082-233-0782
http://matsudaseitai.com/
E-mail: fujikawa@matsudaseitai.com
[担当者名] 藤川 豊秋

香り×企業イノベーション KAORI LOGO

オリジナルの香りでブランド戦略に活!勝!



一瞬で洗練されたブランディングができるとしたら?そして、顧客満足度を15%上げることが出来るとしたら?

全く新しいブランド戦略「香り」がそれを実現します。

香りは五感の中でも記憶に直結することから「香り」をビジネスに導入する企業が増えていきます。

弊社では、ビジュアルロゴ、サウンドロゴに続く第3のロゴとして「香りロゴ」をご提案。

企業理念に基づくオリジナルの香り制作から、ブランド戦略としての香り活用までをトータルでサポートします。

株式会社KAORI LOGO

〒733-0035 広島県広島市西区南観音1-2-1
TEL 082-299-3244 FAX 082-233-2056
http://aroma-c.jp/
E-mail: aromacouleur@yahoo.co.jp
[担当者名] 森 かおり

賛助会員募集のご案内

お問合せ先

賛助会員(一般): 総務企画グループ

賛助会員(国際): 国際ビジネス支援センター

TEL.082-240-7715 FAX.082-242-8627

TEL.082-248-1400 FAX.082-242-8628



公益財団法人ひろしま産業振興機構

HIROSHIMA INDUSTRIAL PROMOTION ORGANIZATION

〒730-0052

広島市中区千田町三丁目7番47号 広島県情報プラザ内

TEL.082-240-7715 FAX.082-242-8627